

# 戦略教材開発物語

【マル秘メルマガ】より

15 通目



## ◆ 7. 疲れのため体重が激減

こうして、まず朗読用の原稿を作り上げるのですが、フルラインを全部作り上げるには頁数がとても多いので、いつ頃になると全部が完成するか全く予定が立たないのです。

休業して原稿書きを初めてから3年半を過ぎたあたりで、大きな不安に取り付かれました。

その不安とは「このようなやり方で、本当に経営戦略のテープやCDができるのだろうか」「多くの費用と多くの時間を使っているけど失敗に終わってしまうのではないか」というものでした。

原稿書きの疲れとこうした不安のために体がどんどん痩せていき、58kgあった体重は52.5kgまで痩せてしまいました。

部屋の中での立ちくらみは1日のうち何回も起き、歩いても頭がボーとなって、目の前に星がいくつも出てくることは何回もありました。休業してから3年～4年半の間が、健康状態は最悪でした。

その頃、行きつけの食堂の経営者は「竹田さんの痩せ方と顔色の悪さは異常だ。きっとガンにかかっているに違いない」と、食堂の従業員に言っていたそうです。

同じ頃、前々から親しくしていた社長さんの1人が、電話をしてきました。「竹田さん。昨日竹田さんの事務所の近くを車で通ったんだけど、竹田さんがヨロヨロしながらうどん屋に入っていくのを見たが

顔色がひどく悪かったよ。ガンにでもかかったのか？」と、心配して電話をしてくれたほどでした。

とにかく、体力と精神面は限界に来ていました。

ちょうどこの頃、私の母校の福岡大学で簿記と会計を教えておられた「三苦先生」が亡くなって、葬儀の日程が新聞に出ていました。

三苦先生はとても行動力がある人で、九州各地で経営の講演をされていました。三苦先生が運営されている研究会にも私を講師として呼んでもらったことがあったので、葬儀に参加しました。

葬儀が終わったあと、長男の方が挨拶をされました。

そのとき「父が亡くなる2～3ヶ月前に、まだやり残した仕事がいくつかある。まだやっておきたいことがいくつかある。と、とても残念がっていました」と言われました。

80歳を過ぎられているのに、まだ自分がやりたい目標を持っておられるとは立派だな、と思ったのですが、その後すぐ「今やっている経営戦略テープやCDのフルラインを完成させておかないと、あとで長い間悔やみ続けることになる。」「ここであきらめてはいかん。なんとしてもやり遂げなくては！」と、考えながら事務所に戻りました。

この頃になるとキャノンからDTPという、特別性能が良いワープロが発売されたので、当時180万円近くしましたが、このスーパーワープロを購入しました。

このワープロは記憶容量がとても多いばかりか、レーザープリンターでしたから、原稿の修正作業がとても早くなりました。

それでも仕事量がとても多いので、私はひどい腱鞘炎にかかりました。指先から肩迄の関節が腫れて、ひどく痛みます。

私が書いた原稿を別の原稿用紙に清書する高田さんも、私と同じようにひどい腱鞘炎にかかり、腕が腫れあがっていました。

同じく私が書いた原稿のワープロ入力を担当していた関さんも、同じように腱鞘炎にかかり腕はガタガタになっていました。

とにかく3人とも食欲減退でヘトヘトになり、ひどい状態です。

その上に私がいつもイライラしているという悪いおまけもついています。今から思うと、安い給料なのによく協力してくれたなど、心から感謝しています。

もちろん私を励まし、陰で支えてくれた良い嫁さんのおかげと、嫁さんにも感謝しています。

(続く)

*Lanchester* ランチェスター経営(株)

〒810-0012 福岡市中央区白金 1-1-8 チュリス薬院 301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>

